

事業番号	05 10 03	事業改善シート（27年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	医薬品適正使用・環境整備事業			担当課	部局	健康福祉部	
					課・室	薬事管理課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	<a href="mailto:yakuji@pref.nagano.lg.jp">yakuji@pref.nagano.lg.jp</a>	
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり			実施期間	H21 ~	
		6 医薬品等の確保・適正使用の推進					

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>後発医薬品の使用状況等の調査・研究、市場流通している後発医薬品の品質検査を実施し、安全な医薬品の流通確保及び適正使用の更なる推進を目指す。</li> <li>薬局を地域に密着した健康情報拠点として位置づけ、セルフメディケーション等の推進を目指す。</li> </ul>						
現状（予算編成時）	<ul style="list-style-type: none"> <li>後発医薬品に対しては、関係団体や消費者など様々な意見や疑問を持っており、その正確な情報が伝わっていない。</li> <li>現在、薬局は県下に約950か所あり、薬剤師も多数常駐しており、数的にも職能的にも身近な健康情報拠点として活用できる条件は整っているが、十分に地域に根差した拠点となっていない状況が伺える。</li> </ul>						
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）	【左記の説明、根拠法令等】					
	県民との協働による実施：検討中	平成25年4月に国が定めた「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」において、都道府県レベルにおける取組みが規定されている。					
成果目標・事業内容	① 成果目標（H27）						
	○後発医薬品の数量シェアを平成30年3月末までに60%以上（新指標）とする。						
	② 事業内容 <span style="float:right">(単位:千円)</span>						
		項目	実施方法	H27実施内容	H27		
					(補正前)	(2月補正)	(補正後)
		1. ジェネリック医薬品使用促進事業	直接	・ジェネリック医薬品使用促進連絡会の開催 ・ジェネリック医薬品利用促進セミナーの開催 ・ジェネリック医薬品利用促進のための情報提供	1,483		1,483
	2. 薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業	直接委託	・健康情報拠点推進会議の開催 ・セルフメディケーション推進モデル事業の実施 (委託先:長野県薬剤師会)	5,085	-584	4,501	
	3. 北陸信越薬剤師大会・北陸信越学術大会	負担金	・第55回北陸信越薬剤師大会・第48回北陸信越薬剤師学術大会開催に伴う負担金 (負担先:長野県薬剤師会)	200		200	
	4. 医薬品有効性確保・副作用対策事業	直接	・医薬品等規格確認・業者指導用書籍の購入 ・消費者啓発用書籍の購入	190		190	
	合計			6,958	-584	6,374	
事業コスト	区分(単位:千円)		24年度	25年度	26年度	27補正後	
	予算額	前年度繰越					
		当初予算	2,041	1,581	7,776	6,958	
		補正予算	8,805	5,000	4,937	-584	
		合計(A)	10,846	6,581	12,713	6,374	
	Aの財源	一般財源					
		県債					
		国庫支出金	10,846	6,581	7,586	5,984	
		その他	0	0	5,127	390	
	決算額(B)	8,438	5,647	10,483			
概算人件費	職員数(人)	0.60	0.60	0.60	0.60		
	概算人件費(C)	4,955	4,955	4,955	4,955		
	概算事業費(B(A)+C)	13,393	10,602	15,438	11,329		
要求からの主な変更点	要求どおり						

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
後発医薬品割合(数量ベース・新指標)	51.6%(H25実績)	53.7%			
健康支援拠点薬局数	517	増加			